

# 2021 「山ちゃん通信」 No.6

文責：山香 昭

## 経営指針シリーズ② 基本理念サブテーマ

# 現場の思いを！現場に思いを！

「事件は会議室で起きているんじゃない。現場で起きているんだ！」踊る大捜査線の青島刑事の言葉です。これは、「情報なき本部」と「権限なき現場」に「意思疎通の壁」という、現場と本部の間に横たわる絶望的なコミュニケーションの障壁を表しており、この例はマネジメント研修でも用いられます。(出典「踊る大捜査線に学ぶ組織論入門」金井壽宏・田柳恵美子著、かんき出版2005年)

県や本教育事務所の重点目標や達成指標も、成果を出すのは子ども達であり、その子ども達を毎日直接ご指導をされているのは教職員と、保護者や地域の方々です。右の写真のように、教師と生徒が共に喜びあう姿をみると、我々も努力のしがいがありますよね。

しかし、行政の立場から見ると、「なぜやらないのか！と思うこともありますよね。それは、

「やり方(手段や手順)」がわからないのか、

「やる目的(なんのため?)」が理解されていないのか、等

その理由は様々です。だからこそ、現場の思いを聞き、そして、我々の思いを現場にわかりやすく説明し、共に作る姿勢が必要ですよ。



**喜ぶ顔がみたい**  
 あなたが喜ぶと私も嬉しい。  
 あなたが辛いと私は悲しい。  
 だから、あなたをほめます。  
 そして、時に叱ります。

### 【新しい動き】



新学習指導要領の着実な実施



学校における働き方改革

GIGAスクール構想

「正解主義」や「同調圧力」への  
偏りからの脱却

一人一人の子供を主語にする  
学校教育の実現

「日本型学校教育」の良さを受け継ぎ、更に発展させる！  
**新しい時代の学校教育の実現**

左の図は、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(中教審答申)【総論解説】からです。ここには、「正解主義」や「同調圧力」への偏りからの脱却や、「一人一人の子供を主語にする・・・」とあります。さらに、↓

「二項対立」の陥穽に陥らない！  
 どちらの良さも適切に組み合わせて生かしていく

- 一斉授業 or 個別学習
- デジタル or アナログ
- 履修主義 or 修得主義
- 遠隔・オンライン or 対面・オフライン

「AかBか」のような、二項対立の陥穽に陥らない(意味は「落とし穴に落ちないで」といった感じ)とも書いてあります。これを読んで、今の私自身が一番意識しなければならぬと感じました。

「答えは現場にある。」だからこそ職務としての学校訪問だけでなく、ご子息や親戚のお子さん等の参観日や学校行事には積極的に参加してください。「事件は会議室で起きている」とならないためにも。